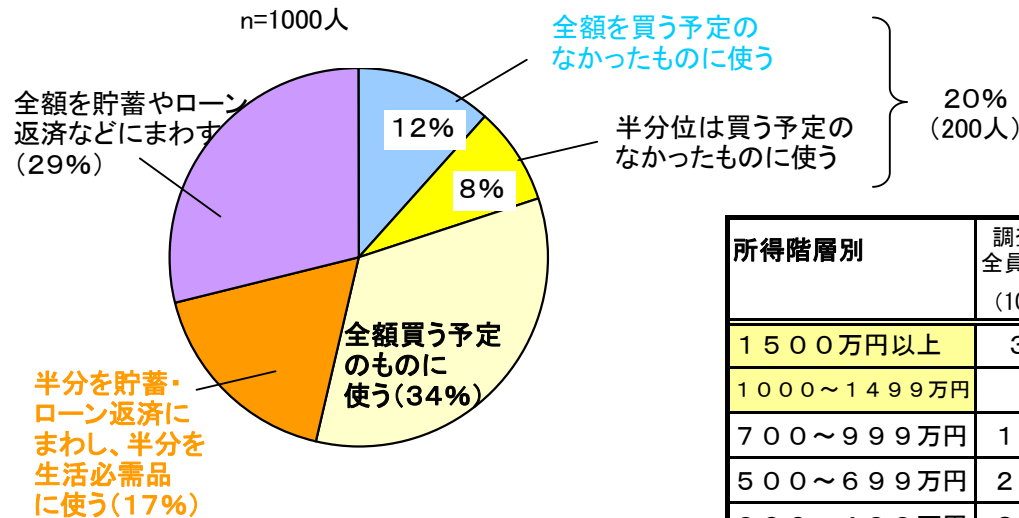


設問2. 今回政府が発表した経済対策の一つとして、定額給付金（一人1.5万円程度の予定）が支給され、／景気回復後（2011年）に消費税が増税されることが発表されました。／定額給付金が支給されたら、あなたの考えは下記のうちどれが一番近いですか。（Q6）

結果：定額給付金については「買う予定のなかったものを使う」が12%、「半分くらいは予定のなかったものを使う」は8%であった（あわせて20%）。「余分に使わない」または「貯蓄やローン返済などにまわす」と答えたひとは80%であった。この結果から読み取れることは、以下の通り。

※ 政策が経済対策への消費効果として表われる部分は、
 「1. 全額を買う予定のなかったものを使う」と「2. 半分位は買う予定のなかったものを使う」の部分である。
 「3. 全額買う予定のものを使う」、「4. 半分以上を貯蓄・ローン返済にまわし、半分を生活必需品に使う」、「5. 全額を貯蓄やローン返済などにまわす」への回答は、表現、対応は異なるが、実質的には同じであり、「貯蓄する」と答えていることに等しい。1. を回答した人の割合と2. を回答した人の半分を足すと16%となり、これが追加的消費効果になる。単純に比例按分すれば、2兆円の定額給付金による追加的消費は3,200億円であり、経済全体への効果はさほど大きくないといえる。

※ 給付金の追加的消費傾向は所得階層別に異なる。1000万円以上の所得階層では、追加的消費を考えている人の割合は30%程度（補足資料1を参照のこと）であり、特に高い。マクロ的な消費効果の見地からは、所得制限を設けることは望ましくない。



所得階層別	調査対象 全員 (A) (1000人)	追加的消費を 考えている人 (B) (200人)	B/A
1500万円以上	3.0%	4.5%	1.5
1000～1499万円	8.9	13.5	1.5
700～999万円	17.0	15.5	0.9
500～699万円	24.5	25.5	1.0
200～499万円	37.9	35.0	0.9
200万円未満	8.4	6.0	0.7